平成２８年度

山形県立図書館要覧

山形県立図書館

目　　次

１　山形県立図書館のあゆみ - 1

２　山形県立図書館平成２８年度運営方針 - 5

３　組　　織 - 8

（１）組織・機構 - 8

（２）職員配置 - 8

４　山形県図書館協議会委員- 9

５　山形県立図書館の予算 - 10

６　施設の現状 - 11

７　所蔵資料 - 14

（１）蔵書、視聴覚資料等- 14

（２）データベース- 15

８　パスファインダー - 16

９　絵本の本棚 - 17

１０　ティーンズコーナー・GATE★BOOK（ゲートブック） - - - - - - - - - - - - 17

１１　利用の状況 - 18

（１）図書館利用概況 - 18

（２）図書資料利用状況の推移 - 19

（３）図書資料貸出利用の年齢構成 - 20

（４）図書資料予約受付数 - 20

（５）市町村別利用（図書館間貸出）の推移 - - - - - - - - - - - - - - - - - - 21

（６）調査相談件数の内訳 - 22

１２　平成２７年度の主な取組み - 23

１３　利用の案内 - 31

１４　市町村立図書館の設置状況 - 32

１５　県内の図書館等 - 33
１６　縣人文庫展示者のプロフィール - 35
１７　山形県立図書館利用規程 - 37

1　山形県立図書館のあゆみ

【　月.日　】

年	山形県立図書館	県内図書館等
明治18		谷地読書協会創立 【2.--】
33		谷地青年会発足、青年文庫設置 【5.10】
34		酒田書籍購読会発足 【10.--】
36		私立山形図書館、開館(私立山形幼稚園の階上)【4.3】
37		酒田書籍購読会を酒田文庫と改称 【4.--】
38		私立置賜図書館(長井町)創設 【4.--】 平民文庫縦覧所(山形市)設置 【7.--】
39		明倫文庫(新庄町)創立 町立荒砥図書館(荒砥小学校内)創立 【6.17】 私立照心書院(長井町)創立 【8.--】
41	東宮行啓記念事業として県立図書館の創立を県会が決議【12.--】	小松至誠会付属図書館、創立 【12.--】
42	私立山形図書館閉館、蔵書等を県立図書館に寄贈 【3.31】 「行啓記念山形県立図書館」設立認可(文部省告示)【5.13】	赤湯町立図書館、創立 【8.--】 南村山郡立図書館(上山町)創立【9.--】 財団法人米沢図書館、開館 【10.17】 酒田文庫を私立酒田図書館と改称 【12.--】
43	行啓記念山形県立図書館落成(総建坪119坪) 行啓記念山形県立図書館開館、一般閲覧開始 【5.25】	
44	山形市北部大火、本館類焼、蔵書10,344冊を焼失【5. 8】 仮事務所を専称寺に置く【6.1】	私立鶴岡図書館、設立 【11.--】
大正元	山形物産陳列場に仮事務所を移転 【11.11】	村立余目図書館(余目尋常高等小学校に併設)開館【11.1】
2	行啓記念山形県立図書館の新館舎落成(建坪143.5坪)【12.31】	
3	新館舎での一般閲覧開始 【3.5】	
4		私立左沢文庫、創立 【3.--】 鶴岡町立図書館(大宝館に併設)創立 【11.10】 谷地図書館設立、開館 【11.24】
5		西村山郡立図書館(寒河江市)創立 【 4.--】 第11回全国図書館大会を山形ほかで開催 【10.9】
9	受験用巡回文庫創設(県下中学校を巡回) 【1.--】	
12		財団法人光丘文庫、設立 【6.1】
14		山形県図書館協会、設立 【7.10】 私立酒田図書館、蔵書を光丘文庫に寄贈して解散 【3.28】
昭和3		新庄町立図書館、創設 【4.1】 東北北海道図書館連盟、成立 【4.29】
9	行啓記念山形県立図書館を山形県中央図書館に指定(改正図書館令) 【4.19】	
10		赤湯町立図書館臨雲文庫、開庫 【4.29】 山形県図書館協会、農村更生文庫設立 【12.--】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和11		「山形県図書館協会報」創刊 【4.20】、第12号より「山形文化時報」に改名
13		財団法人米沢図書館の寄附を受け、市立米沢図書館設立【4.1】
14		小松至誠会付属図書館、小松町立図書館となる 【4.27】
20	図書館蔵書を東沢村蓬来寺に疎開 7,410冊 【7.20】、 3,937冊 【8. 3】 疎開蔵書帰還 【10.21】 進駐軍への図書館舎明渡し通告【11.22】、図書館事務室は日赤山形県支部に移転し、蔵書は山形二中に移転	
21	山形県婦人会館の2階で一部一般閲覧開始 【6.17】	
22		山形県読書連盟発足 【12.14】
23	仮館舎、山形中学校剣道場での一般閲覧開始 【2.16】	
24		寒河江町立図書館、設立 【11.--】
25	日本十進分類法(新訂6版)、日本目録規則、日本件名標目法を採用 【6.6】 「行啓記念山形県立図書館」を「山形県立図書館」に改称、山形県中央図書館の指定解除 【7.30】 山形県立図書館条例制定 【8.31】	酒田市立図書館(光丘文庫に併設)創立 【4.1】 図書館法公布 【4.30】、施行 【7.30】
26	初の移動図書館を実施 【10.12】	
27	田川地区(鶴岡)、最上地区(新庄)に配本所設置 【4.--】	
28	仮館舎から本館に戻り閲覧開始 【3.1】 館報「図書館だより」発刊 【5.10】 東南置賜(宮内)、西置賜(長井)、西村山(左沢)、北村山(楯岡)に配本所設置 【6.--】 飽海地区(酒田)に配本所設置 【9.--】	私立龍門図書館、設立 【11.--】 山形県公共図書館協議会、結成 【11.3】
30	南置賜地区(米沢)に配本所設置 【3.--】 東南村山地区(天童・上山)に配本所設置 【6.--】 田川地区配本所を鶴岡分館に 【7.1】、南置賜配本所を米沢分館とする【11.--】	
31	最上地区配本所を新庄分館とする 【6.--】	
32	飽海地区配本所を遊佐町に移転し、市立酒田図書館内に酒田分館を設置【5.--】	山形点字図書館を山形盲学校内に創設 【12.--】
33		財団法人光丘文庫、酒田市に寄贈【4.1】 酒田市立光丘図書館に改称
34	赤湯分館を設置 【9.--】 北村山配本所を尾花沢市に移転 【11.--】	
36	自動車文庫(やまなみ号)巡回開始 【10.2】	
37	図書館新築(県民会館と併設～図書館面積 2,212㎡)、開館 【8.16】	
40		山形県公共図書館協議会を山形県図書館協会に改称【6.10】
42		町村合併により南陽市立図書館開館、赤湯町立図書館臨雲文庫を南陽市立結城記念館に改称 【4.1】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和46		川西町立図書館、開館 【7.--】
47	分館の廃止 【6.--】	
50		西川町立図書館、開館 【10.1】
51	協力車運行開始（自動車文庫「やまなみ」廃止） 【4.--】	山形新聞社内に山形中央図書館開館 【9.25】
52	「山形県関係文献目録」刊行 【3.25】	
53		山形県立点字図書館、開館 【4.1】
54		村山市立図書館（旧、私立喜早彦太図書館）開館 山形市立図書館新築、開館 【7.1】 尾花沢市民図書館開館 【7.--】
56		長井市立図書館移転新築し、開館【5.20】
57		酒田市立中央図書館（総合文化センターに併設）開館【4.1】
58		高畠町立図書館、開館 【4.1】 天童市立図書館移転新築し、開館 【7.1】
60		鶴岡市立図書館移転新築し、開館 【7.24】
61		櫛引町立図書館、開館 【4.--】
62		遅筆堂文庫（川西町）開館 【8.--】
63	「県立図書館、生涯教育センター」の着工 【1.30】	新庄市立図書館移転新築し、開館 【8.3】
平成元		山形地区図書館連絡協議会、現物(相互)貸借申合わせ実施 【10.20】
2	遊学館（県立図書館 6,085㎡、生涯学習センター 5,641㎡）へ移転、開館 【7.28】	
3	「山形県内出版物目録」刊行開始 【3.--】	飯豊町町民総合センター図書室、開館 【7.21】 遊佐町立図書館新築、開館 【7.23】 寒河江市立図書館移転新築し、開館 【12.10】
4		山形県公共図書館(図書室)相互貸借規程など図書館間協力に関する諸規程を整備 【10.21】
5	「山形県立図書館運営方針」 【3.--】	山形県図書館協会、「特定主題文献目録」刊行 【3.--】
6		川西町立図書館・遅筆堂文庫、川西町フレンドリープラザに移転し、開館 【8.1】
7		河北町立中央図書館（総合交流センターに併設）開館【6.16】
8		上山市立図書館移転新築（カミンの5階）、開館 【6.1】
9		尾花沢市学習情報センター（悠美館）に尾花沢市民図書館移転 【4.29】
11		東根市さくらんぼ図書館（JRさくらんぼ東根駅舎に併設）開館 【12.4】
12	全国公共図書館奉仕部門研究集会を、遊学館において開催 【10.5～6】	朝日町立図書館（「創遊館」に併設）移転、開館 【6.5】
13		南陽市立図書館（「えくぼプラザ」に併設）移転 【3.27】
14	山形県立図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索の公開 【4.19】	
15	「県立図書館運営方針(改訂版)」 【3.--】 山形県関係文献目録をインターネットに公開 【4.16】	
16		新聞雑誌に関する協定(分担収集)、施行 【6.30】

年	山形県立図書館	県内図書館等
平成17	新図書館情報システム運用開始 【4.5】	ゆとり都OPAC公開 【3.18】 立川町、余目町合併により庄内町立図書館及び分館発足【7.1】 鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町合併により藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海分館発足 【10.1】 酒田市、八幡町、松山町、平田町合併により八幡、松山分館及びひらた図書センター発足 【11.1】
18	開館日の拡大～祝日(月曜日及び年末年始を除く)、1月4日、12月28日を開館日に変更 【4.1】 カウンター業務に全て司書有資格者(嘱託18名)を配置【4.1】 生涯学習センターに指定管理者制度を導入 【4.1】	県教育委員会、「山形県子ども読書活動推進計画」策定【2.--】
19	山形県公立図書館横断検索システム運用開始【6.22】 インターネット予約貸出しシステム運用開始【10.2】	河北町立中央図書館、川西町立図書館、指定管理者制度導入 【4.1】
20		天童市立図書館、指定管理者制度導入 【4.1】
21		新庄市立図書館、長井市立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
22	山形県立図書館開館100周年記念事業実施 【11.6】	東根市さくらんぼ図書館、指定管理者制度導入 【4.1】 村山市立図書館(「甑葉プラザ」に併設)移転 【5.29】
23	図書館情報システム更新 【3.1】	
24		中山町立図書館移転、開館 【4.30】
25	全国公共図書館研究集会(サービス部門　総合・経営部門)を、村山市甑葉プラザで開催 【10.24～25】	
26	県図書館協議会が「県立図書館の将来のあり方について」を提言 【3.18】	
27	ICタグの導入・ICゲート設置【2.25】 「県立図書館活性化基本計画」策定 【3.--】	

２ 山形県立図書館 平成 28 年度運営方針

１　運営方針

「県立図書館の将来のあり方について」（平成 27 年 3 月策定。以下「あり方」という。）に掲げる基本理念『県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点』を目指し、「県立図書館活性化基本計画」（平成 28 年 3 月策定）も踏まえながら、次の３つの基本目標を掲げて各種施策を展開する。

（１）　県内図書館の中核的役割の発揮（「あり方」基本目標１）
（２）　県民ニーズ実現のための積極的支援（同基本目標２）
（３）　県民本位の利用しやすい図書館づくり（同基本目標３）

２　主な取組み

（１）県立図書館を大きく変える新たな取組み

①　県立図書館の大規模改修に伴う基本設計及び実施設計の実施

教育庁文化財・生涯学習課が実施する県立図書館の大規模改修に伴う基本設計及び実施設計の作業に積極的に参画し、「県民が集い・学ぶ本のまち」づくりを進める。

②　図書館情報システムの更新の実施

図書館サービスを支える図書館情報システムを再構築し、新たなサービスの追加やシステムの安定的な運用を確保し、利用者に対する利便性の向上を図る。

（２）県内図書館の中核的役割の発揮

①　資料整備の推進

県内公立図書館・図書室（以下、「県内公立図書館」という。）が整備しない専門性の高い資料についても必要性に応じてこれを整備し、県民の知的ニーズや情報ニーズに応える。

②　相互貸出、インターネット予約及び特別貸出の推進

県内公立図書館との相互貸出やインターネット予約について県民に周知するとともに、県内公立図書館や学校図書館等への一括特別貸出を促進し、県民の誰もが県立図書館の資料を利用できる環境づくりを進める。

③　県内公立図書館の機能向上の支援

レファレンス等サービスの実施、資料整備、その他図書館運営に係る県内公立図書館からの要請に応じて、情報提供や助言を行い、そのサービス機能の向上を支援する。

④　県内公立図書館との連携事業の推進

県内の図書館活動の広報や読書推進に係る事業について県内公立図書館と連携して実施する。

⑤　県内公立図書館職員の研修支援

県内公立図書館職員を対象とした施設の運営及び危機管理、図書館機能の充実等に資する研修を実施し、県内公立図書館職員の資質の向上を図る。

⑥　学校図書館との連携の推進

県立図書館による高等学校図書館の活動支援及びに高校生の県立図書館利用促進に向けて学校図書館司書等との意見交換を継続するとともに、学校図書館司書・図書委員の研修の受入れや共同の取組みを進める。

⑦　職員の資質の向上及び調査相談（レファレンス）の充実

職員の研修機会の確保に努め、図書館全体としての専門性の向上を図る。

併せて、レファレンスの事例についてホームページ等で紹介するとともに、レファレンスツールの充実を図る。

（３）県民ニーズ実現のための積極的支援

①　地域の課題解決や地域活性化への支援

医療、福祉・介護、教育、法律問題など県民の日常生活上の課題解決や地域づくり、防災など地域コミュニティーの課題解決、さらには地域活性化に資する活動について支援する。

当面、課題解決に資する資料の整備を行うとともに、民間団体及び行政機関の取組みやイベントと連携して関連資料を展示する企画展を開催する。

②　読育の推進

子育て支援機関や教育機関などへの団体貸出を促進するとともに、各団体と連携し、出前図書館、読み聞かせ会その他のアウトリーチ活動を行う。

③　地域政策課題解決の支援

行政機関等関係機関に地域政策課題解決のための図書館活用を積極的にＰＲするとともに、電子メールや本の森通信等を通じて、地域政策課題に資する資料の情報を関係機関に提供する。

④　電子媒体活用の推進

昨年度に引き続き、郷土資料のデジタル化に向けた準備作業を進める。

⑤　積極的な情報発信による認知度の向上

図書館活用をアピールする話題性のある企画を実施するとともに、県立図書館の活動をひろくＰＲするため、パブリシティの活用及びホームページやフェイスブックによる情報発信を積極的に行う。

また、図書館のイベント、新着図書、施策等に関するお知らせを掲載した「本の森通信」を定期的に発行する。

⑥　ボランティアの受け入れ等、図書館運営への県民参加の推進

昨年度受け入れた１８名と合わせて、２８年度も、図書館の利用案内、資料整

理、配架などを行うボランティアを募集し、自主的な活動を促進する。
また、雑誌スポンサーの拡大を引き続き図る。

（４）県民本位の利用しやすい図書館づくり

①　開館日の増加等

年度当初の休館日を１日に短縮するとともに、蔵書点検期間の短縮による開館日の増加についても検討を進める。

また、祝日となる月曜日の開館について、引き続き関係機関と検討を進める。

②　蔵書管理の充実による利便性の向上

昨年度導入したＩＣタグによる蔵書管理システムについては、平成 29 年 2 月運用開始予定の新図書館情報システム（貸出・返却）と連携を図り、さらなる利便性の向上に取組む。

③　インターネット・複写サービスの利便性向上

Wi-Fi 環境の導入やカラー複写サービス用機器の整備について、引き続き検討する。

④　高齢者や乳児同伴者への配慮

昨年度に引き続き、高齢者向けの大活字本や朗読ＣＤの充実を図る。

また、低学年児や乳児の同伴者が気兼ねなく利用できる「子ども用エリア」の整備について、大規模改修のための基本設計・実施設計の作業のなかで検討していく。

⑤　親しみやすく、利用しやすい雰囲気づくりの推進

親しみやすく、子ども連れでも気兼ねなく利用できる雰囲気づくりについて、大規模改修のための基本設計・実施設計の作業のなかで検討していく。

なお、当面は、手作り感を生かしたポップな掲示やアイデアを活かした企画展示を実施するとともに、昨年度から実施している多様なイベントの実施を通じて親しみやすい県立図書館のイメージを定着させていく。

⑥　にぎわい創出につながる仕掛けの展開

児童・生徒を引き付ける企画展示やイベントを開催するとともに、民間団体と連携した大人向けの企画展示やイベントも開催する。

また、にぎわい創出の仕掛けづくりについて、教育庁文化財・生涯学習課が設置する「活性化推進会議」の協議に積極的に参加していく。

⑦　図書館情報システムの改善

（前掲）

⑧　駐車場利用の改善

利用者の滞在時間の拡大のため、県営駐車場の無料利用時間の延長を検討していく。

3　組　　織

平成28年４月１日現在

（1）組織・機構

館長・総務課（7）

館長（1）― 副館長（1）――― （兼）総務課長――― 総務主査（兼）総務係長（1）― 主査（1）
― 主事（1）
― 嘱託　自動車運転業務（1）
― 嘱託　事務支援（1）

経営課（25）

― 経営主幹（1）― （兼）経営課長――― 管理主査（1）― 主査（1）― 嘱託　司書（18）
― 調査相談専門員（1）― 調査相談主査（1）
― 主査（1）
― 副主任（1）

企画課（9）

― 企画主幹（1）― （兼）企画課長― 運営企画専門員（1）
― 運営企画主査（1）― 主査（1）
― 図書館活性化主査（1）
― 資料整備主査（1）― 主査（1）― 嘱託　事務補助（2）

（2）職員配置

	館　長	副館長	主　幹	課　長	専門員	主　査	係　長 主　査	副主任 主　事	正職員 計	嘱　託 （自動車運転業務）	嘱　託 （司書）	嘱　託 （事務）	合計
館　長	1								1				1
副館長		1							1				1
主　幹			2						2				2
総務課				(1)		1	(1) 1	1	(2) 3	1		1	(2) 5
経営課				(1)	1	2	① 2	1	(1)① 6		⑱ 18		(1)⑲ 24
企画課				(1)	1	① 3	② 2		(1)③ 6			① 2	(1)④ 8
計	1	1	2	(3)	2	① 6	(1)③ 5	2	(4)④ 19	1	⑱ 18	① 3	(4)㉓ 41

※（　）は兼務、○は司書有資格者で内数

4　山形県図書館協議会委員

●図書館協議会とは

山形県図書館条例（第４条）の規定により昭和27年に設立されたもので、年２回程度開催している。

委員は、学校教育・社会教育の関係者や家庭教育の向上に関する活動を行うもの、それらの学識経験者などで構成され、各委員から図書館運営に関する幅広い内容のご意見をいただく場となっている。

（敬称略、五十音順）

氏　　名	役　　職	備　　考
加　藤　美穂子	一般社団法人子どもの読書サポートアシード代表理事	
佐　藤　晶　子	元 月刊「SPOON」編集長	
新　藤　　透	山形県立米沢女子短期大学准教授（日本図書館情報学会所属）	
鈴　木　雅　史	山形新聞社論説委員	
渡　邉　裕　美	山形県学校図書館連絡協議会会長（山形大学附属中学校長）	
沼　野　　慈	特定非営利活動法人ＮＰＯもがみ理事長	
松　田　道　雄	東北芸術工科大学教授	

任期：平成２７年５月２５日～平成２９年５月２４日

５ 山形県立図書館の予算

（単位：千円）

事業名	平成２４年度（最終）	平成２５年度（最終）	平成２６年度（最終）	平成２７年度（最終）	平成２８年度	平成28年度主な事業
県立図書館協議会費	58	53	92	158	**218**	協議会開催経費
県立図書館運営費	51,509	55,998	67,274	54,275	**91,878**	
図書館管理運営費	39,375	43,789	54,745	42,028	**82,441**	光熱水費、消耗品、通信費等
職員研修費	819	894	1,081	774	**1,153**	司書研修、大会旅費等
コンピュータ運営費	11,315	11,315	11,448	11,473	**8,284**	図書館電算システム機器賃借等
図書資料整備充実費	25,245	23,715	22,776	22,629	**23,222**	
図書資料充実費	23,432	22,216	21,261	21,088	**20,549**	一般図書、逐次刊行物雑誌等
視聴覚資料整備費	1,813	1,499	1,515	1,541	**1,862**	VTR・CD・DVD等
貴重資料整備充実・図書館地区別研修	0	0	0	0	**811**	講師等報酬・旅費等
奉仕活動事業費	2,464	2,474	2,539	2,511	**2,516**	
図書館機能向上事業費	0	0	0	41,581	**0**	
県民が集い・学ぶ県立図書館整備事業費	0	0	0	0	**28,095**	改修基本設計、ICタグ貼付等（繰越明許費）
読書活動総合推進事業費	848	771	0	0	**0**	
県立図書館資料確認整備事業費	6,847	0	0	0	**0**	
県立図書館閉架書庫蔵書点検整備事業	746	3,042	0	0	**0**	
合　　計	87,717	86,053	92,681	121,154	**145,929**	

※ 平成26年度(最終)の図書館運営費には、地下1階書庫増設経費（本庁執行）10,476が含まれている。

※ 平成27年度(最終)の図書館機能向上事業費には、ICタグ導入経費等（本庁執行）21,819が含まれている。

※ 平成28年度の図書館運営費には、新図書館システム導入経費（本庁執行）40,726が含まれている。

※ 平成28年度の県民が集い・学ぶ県立図書館整備事業費には、大規模改修基本設計経費等（本庁執行）18,985が含まれている。

６施　設　の　現　状

（1）名　　称　　山形県立図書館（「遊学館」）

（2）構　　造　　鉄骨鉄筋コンクリート造　地下２階・地上３階

（3）面　　積　　敷地面積 9,769.62 ㎡　建築面積 4,819 ㎡
図書館延床面積 6,085 ㎡（遊学館 11,726 ㎡）

階	区分	面積	階	区分	面積
塔屋	機械室	167.4 ㎡	1階	製本室	62.6 ㎡
	その他	57.3 ㎡		経営課	155.6 ㎡
	計	224.7 ㎡		車庫	64.6 ㎡
2階	館長室	43.9 ㎡		ロッカー室	23.5 ㎡
	総務課・企画課	147.4 ㎡		開架室	1,311.1 ㎡
	図書選択室	47.5 ㎡		縣人文庫展示室	135.5 ㎡
	コンピュータ室	73.4 ㎡		その他	162.8 ㎡
	スタッフラウンジ	35.4 ㎡		計	1,915.7 ㎡
	研究室	54.8 ㎡	地下1階	書庫	87.6 ㎡
	閉架書庫	172.3 ㎡		その他	22.6 ㎡
	開架室	779.3 ㎡		計	110.2 ㎡
	その他	121.1 ㎡	地下2階	書庫	1,042.9 ㎡
	計	1,475.1 ㎡		機械室	1,272.4 ㎡
				その他	44.3 ㎡
				計	2,359.6 ㎡
合計					6,085.0 ㎡

（4）主な設備
閲覧席：社会人席　２６、小中学生専用席　１６、車椅子席　２、フリー席　４６、
パソコン持込席　６、新聞閲覧席　８、大型本閲覧席　６　　計１１０席
視聴覚コーナー：ＤＶＤ再生機　５、ビデオ再生機　４、ＣＤ再生機　２、
カセットテープ再生機　１、拡大鏡　１
インターネットコーナー：２席
新聞・雑誌コーナー：２５席（飲み物の持ち込みができます）
ラウンジ：２４席（１階１８席、２階６席）（飲み物の持ち込みができます）
研究室：第１研究室・１２名、第２研究室・６名、第３研究室・４名
データベース等閲覧関連：オンライン資料閲覧機器　２、ＣＤ－ROM閲覧機器　２、
マイクロフィルムリーダー　２
その他：ＩＣゲート（１通路）一式、ＩＣゲート（３通路）一式、
館内検索用端末　８

≪参考≫　総工費　　約６２億円（遊学館全体、工期：昭和６３年～平成２年）

館内略図

平成28年4月1日

山形県立図書館

〒990-0041　山形市緑町1－2－36

Tel　(023)633-0165　Fax　(023)625-6520

ホームページアドレス　http://www.lib.pref.yamagata.jp/

開館時間	火曜日から日曜日 午前9時から午後7時まで
休館日	毎週月曜日・毎月第3日曜日 年末年始（12月29日から1月3日） 特別整理期間（その都度お知らせします）

1階・一般資料室B

3社会科学
4自然科学
5技術　6産業
コンピューター
視聴覚資料

1階・一般資料室A

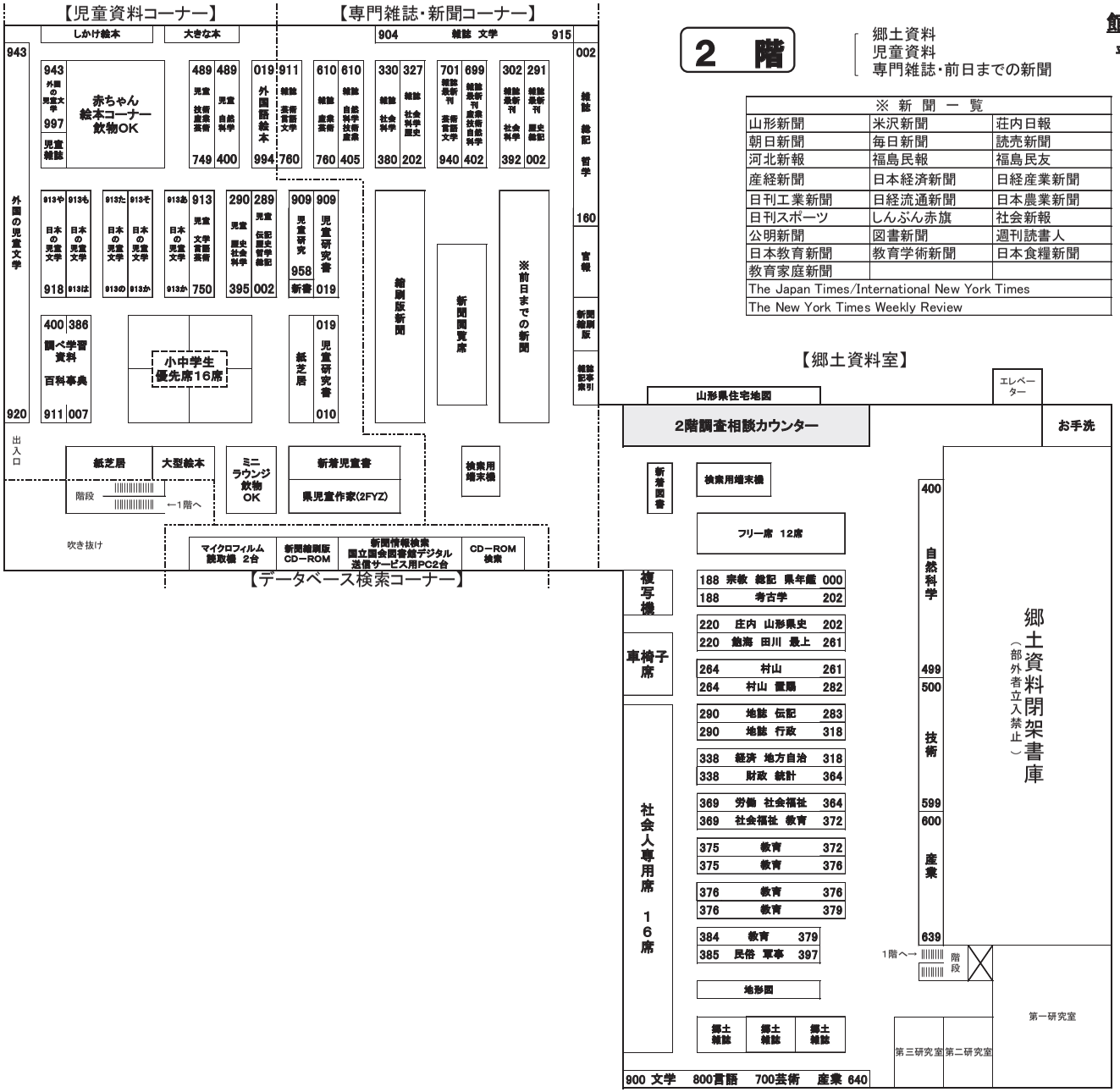
0総記　1哲学　2歴史
7芸術　8言語　9文学
文庫・新書
当日の新聞
ブラウジング雑誌

館内略図

平成28年4月1日

2 階

郷土資料
児童資料
専門雑誌・前日までの新聞



※ 新 聞 一 覧

山形新聞	米沢新聞	荘内日報
朝日新聞	毎日新聞	読売新聞
河北新報	福島民報	福島民友
産経新聞	日本経済新聞	日経産業新聞
日刊工業新聞	日経流通新聞	日本農業新聞
日刊スポーツ	しんぶん赤旗	社会新報
公明新聞	図書新聞	週刊読書人
日本教育新聞	教育学術新聞	日本食糧新聞
教育家庭新聞		
The Japan Times/International New York Times		
The New York Times Weekly Review		

７　所　蔵　資　料　　（平成28年３月末現在）

（1）蔵書、視聴覚資料等

（単位：冊、点）

		平成２６年度末蔵書数			増加数			平成２７年度末蔵書数		
		図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0	総　　記	23,846	25,826	49,672	405	650	1,055	24,251	26,476	50,727
1	哲学・宗教	27,528	2,309	29,837	533	45	578	28,061	2,354	30,415
2	歴史・地誌	57,966	4,792	62,758	1,492	123	1,615	59,458	4,915	64,373
3	社会科学	123,686	28,565	152,251	2,426	412	2,838	126,112	28,977	155,089
4	自然科学	39,064	8,113	47,177	911	137	1,048	39,975	8,250	48,225
5	技術・工学	45,315	12,287	57,602	1,051	175	1,226	46,366	12,462	58,828
6	産　　業	38,770	9,753	48,523	609	107	716	39,379	9,860	49,239
7	芸　　術	37,923	12,470	50,393	972	375	1,347	38,895	12,845	51,740
8	言　　語	12,439	990	13,429	227	16	243	12,666	1,006	13,672
9	文　　学	102,288	14,402	116,690	2,052	339	2,391	104,340	14,741	119,081
小　　計		508,825	119,507	628,332	10,678	2,379	13,057	519,503	121,886	641,389
K	郷土資料	110,173	21,003	131,176	2,052	458	2,510	112,225	21,461	133,686
Z	児　　童	34,543	0	34,543	1,012	0	1,012	35,555	0	35,555
P	紙芝居	998	0	998	14	0	14	1,012	0	1,012
F	洋図書	4,397	0	4,397	34	0	34	4,431	0	4,431
蔵書冊数		**658,936**	**140,510**	**799,446**	**13,790**	**2,837**	**16,627**	**672,726**	**143,347**	**816,073**

※増加数は登録数から除籍数を引いた数　　※0～9門の逐次刊行物には児童雑誌も含む

ＣＤ	3,438	98	3,536
カセットテープ	651	−1	650
ビデオテープ	4,425	−4	4,421
ＤＶＤ（ビデオディスク）	2,725	96	2,821
視聴覚他	29	0	29
視聴覚資料(点)	**11,268**	**189**	**11,457**

新聞合本(冊)	**7,770**	**150**	**7,920**
マイクロフィルム(点)	**7,424**	**0**	**7,424**

資料数合計	**825,908**	**16,966**	**842,874**

（2） データベース（オンライン資料）

データベース名	データベースの概要	検索対象期間
山形新聞記事データベース	山形新聞に掲載された県内の記事の本文を検索できます。ただし、著作権や人権の点から検索できない記事があります。	1999年12月～
聞蔵Ⅱテキスト (朝日新聞記事等データベース)	朝日新聞東京本社発行の最終版の記事、沖縄以外の各都道府県の地方版記事の本文を検索できます。但し、著作権等の関係で表示できない記事もあります。 また、「AERA」(創刊号～)、「週刊朝日」のニュース面2000年4月～)の記事も検索できます。	1984年8月～ 地方版のうち山形版は1997年1月～ 庄内版は2010年2月～
日経テレコン21 (日経記事等データベース)	日本経済新聞(地方経済面含む1976年10月～)、日経産業新聞、日経流通新聞MJ及び日経金融新聞の記事の本文を検索できます。 また、日経速報ニュース、企業情報・企業決算、人事情報・人事記事、英字記事、マーケット概況・マクロ経済統計・地域経済統計等も検索できます。	日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞は1975年4月～ 日経金融新聞は1987年10月～
D1－Law.com (第一法規法情報総合データベース)	憲法、条約、法律、政令、勅令、府令・省令、規則、告示までの2万件余の法令、約20万件の判例本文とこれらを理解するための要旨・解説情報、また、幅広い収録対象誌から収集した約60万件の文献情報等の法情報を登載しています。	旧憲法下～現在
山形県関係新聞記事索引	山形新聞、朝日新聞、毎日新聞及び読売新聞に掲載された県内の主要な記事の見出しを検索できます。	1975年1月～ 2004年12月
官報情報検索サービス	官報(本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録)が検索できます。	1947年5月3日日本国憲法施行日～当日発行分
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約142万点の資料(平成28年7月時点)がご覧いただけます。	昭和43年までに受け入れた図書 約50万点・明治期以降の貴重書等 約2万点・平成12年までに発行された雑誌（商業出版されていないもの） 約1万タイトル（約78万点）・平成3～12年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの）約12万点
国立国会図書館歴史的音源配信提供サービス	歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約5万点の音源(平成28年7月時点)がお聴きいただけます。	1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された約5万点の音源

８ パスファインダー

調べたいテーマに関連する資料・情報の探し方や入手方法などを紹介するため、平成２３年度から「パスファインダー」の作成に取り組んできている。

郷土関係の項目を中心として様々なテーマについてパスファインダーを作成し、館内に配置するとともに、ホームページで公開している。

No.	テ　ー　マ
１	郷土の人物について調べる
２	山形県の郷土料理について調べる
３	立石寺（山寺）について調べる
４	最上川について調べる
５	山形県の神社・寺院について調べる
６	単位について調べる
７	紅花について調べる
８	出羽三山の修験道について調べる
９	最上義光について調べる
１０	山形の地震について調べる
１１	山形県の地図(種類・発行年)の所蔵状況について調べる
１２	節電について調べる
１３	山形の方言について調べる
１４	山形の温泉について調べる
１５	山形の伝統工芸について調べる
１６	初市・植木市について調べる
１７	芭蕉がたどった山形路について調べる
１８	啓翁桜について調べる
１９	山形の伝統芸能について調べる
２０	山形の民話・昔話について調べる
２１	山形の祭りについて調べる
２２	サクランボについて調べる
２３	山形の鉄道について調べる
２４	樹氷について調べる
２５	山形のそばについて調べる
２６	山形の山菜・きのこについて調べる
２７	山形のお酒について調べる
２８	医療情報について調べる
２９	企業情報について調べる
３０	自由研究・自由工作について調べる

９ 絵本の本棚

平成２０年度、山形県子ども読書活動推進計画にもとづく取り組みの一つとして、子どもたちに読み聞かせをしている方々に向けて、絵本選びの参考として活用していただくために、テーマ別の絵本リスト「絵本の本棚」の作成を開始した。

対象者は幼児から小学生を目安として、当館の児童向け展示のテーマに合わせてリストを作成している。２階児童書コーナーに配置するほか、ホームページで公開するとともに、県内市町村図書館にも送付している。

No.	テ ー マ	No.	テ ー マ
１	かがくの本	１６	ふゆの絵本
２	大型絵本	１７	はるの絵本
３	乗り物の本	１８	雨の絵本
４	かいじゅう、おばけの絵本	１９	マツリとカミサマ
５	おいしい秋	２０	山の絵本
６	クリスマス	２１	海の絵本
７	むかしばなしの絵本	２２	妖怪の絵本
８	おとうさん	２３	星と月
９	おかあさん	２４	かみしばい　春夏秋冬
１０	おじいちゃん、おばあちゃん	２５	からだのふしぎ
１１	赤ちゃん絵本	２６	おやすみなさいの絵本
１２	きょうだい	２７	ことばのリズムを楽しむ絵本
１３	ともだち	２８	虫・ムシ・むしの本
１４	なつの絵本	２９	おたんじょうび おめでとう
１５	あきの絵本		

10 ティーンズコーナー・GATE★BOOK（ゲートブック）

平成２２年度こどもの読書週間企画展において１０代の若者を対象にした「ヤングアダルトおすすめ本」を展示紹介したが、終了後も引き続き通年展示とし、図書館職員からのおすすめ本等を掲載したリストを作成し配置していた。

平成２４年１月からは、展示コーナーの名称を「ティーンズコーナー」に変更し、ヤングアダルト向けの新着本を紹介するリスト「GATE★BOOK」を作成し常置してきている。「GATE★BOOK」は、当館利用者からイラストを募集し表紙にしたり、レファレンスを紹介するなど様々な工夫をしながら月１回を目安に発行してきている。

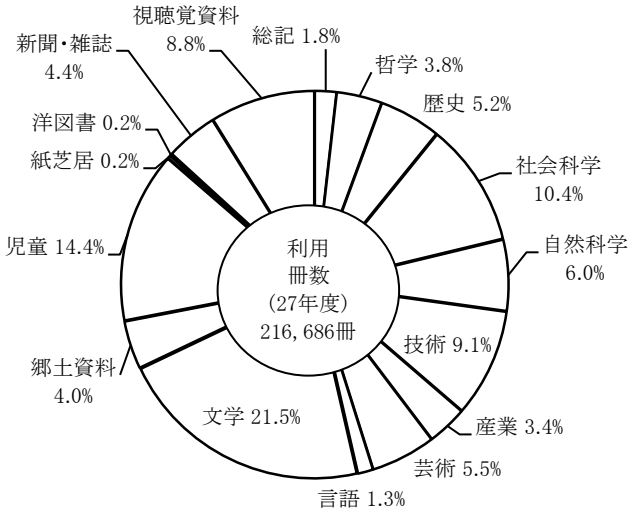
11　利用の状況

(1) 図書館利用概況

①　入館者・登録者数・個人貸出冊数

区分	開館日数（日）	入館者数(人)		登録者数(人)		個人貸出冊数（冊）	
		総　数	１日平均	新　規	累　計	総　数	１日平均
２３年度	284	196,725	692	2,525	93,708	185,906	655
２４年度	285	203,179	712	2,210	95,918	191,120	671
２５年度	285	195,095	684	2,530	98,448	187,007	656
２６年度	285	192,779	676	2,141	100,589	212,759	747
２７年度	286	200,407	701	2,552	103,141	216,686	758

②　分類別利用状況(個人貸出冊数)



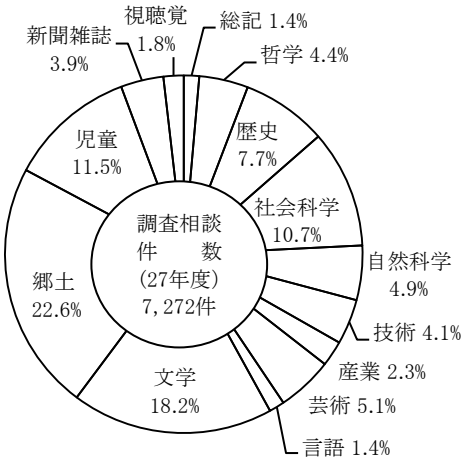
③　相互貸借冊数

区分	相互貸借冊数	
	貸出	借受
２３年度	4,993	468
２４年度	6,015	517
２５年度	7,287	608
２６年度	8,279	780
２７年度	8,250	661

④　調査相談件数

区分	調査相談(件)		
	郷土資料	一般資料	計
２３年度	1,328	5,352	6,680
２４年度	1,271	5,777	7,048
２５年度	1,239	5,668	6,907
２６年度	1,154	5,240	6,394
２７年度	1,642	5,630	7,272

⑤　分類別調査相談状況



（2） 図書資料利用状況の推移

（単位:冊、%）

		23年度			24年度			25年度			26年度			27年度		
		冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比
0	総記	3,349	1.80	87.2	3,961	2.07	118.3	3,410	1.82	86.1	3,865	1.82	113.3	3,905	1.80	101.0
1	哲学･宗教	7,142	3.84	100.1	7,165	3.75	100.3	7,141	3.82	99.7	7,468	3.51	104.6	8,266	3.81	110.7
2	歴史･地誌	11,769	6.33	95.4	11,541	6.04	98.1	10,297	5.51	89.2	11,005	5.17	106.9	11,287	5.21	102.6
3	社会科学	20,581	11.07	100.2	22,103	11.56	107.4	19,968	10.68	90.3	21,193	9.96	106.1	22,539	10.40	106.4
4	自然科学	11,230	6.04	107.9	12,115	6.34	107.9	11,211	5.99	92.5	12,983	6.10	115.8	12,940	5.97	99.7
5	技術･工学	16,438	8.84	110.7	16,591	8.68	100.9	15,966	8.54	96.2	18,400	8.65	115.2	19,738	9.11	107.3
6	産業	6,115	3.29	98.5	6,547	3.43	107.1	6,614	3.54	101.0	7,586	3.57	114.7	7,313	3.37	96.4
7	芸術	11,160	6.00	95.7	11,011	5.76	98.7	10,140	5.42	92.1	12,125	5.70	119.6	11,821	5.46	97.5
8	言語	2,462	1.32	91.0	2,371	1.24	96.3	2,388	1.28	100.7	2,641	1.24	110.6	2,776	1.28	105.1
9	文学	41,199	22.16	100.2	43,437	22.73	105.4	39,420	21.08	90.8	44,970	21.14	114.1	46,610	21.51	103.6
小計		131,445	70.71	100.5	136,842	71.60	104.1	126,555	67.67	92.5	142,236	66.85	112.4	147,195	67.93	103.5
K	郷土資料	5,866	3.16	92.4	5,665	2.96	96.6	7,308	3.91	129.0	9,632	4.53	131.8	8,753	4.04	90.9
Z	児童	19,014	10.23	96.0	17,021	8.91	89.5	21,889	11.70	128.6	29,953	14.08	136.8	31,165	14.38	104.0
P	紙芝居	337	0.18	77.8	450	0.24	133.5	567	0.30	126.0	646	0.30	113.9	518	0.24	80.2
F	洋図書	673	0.36	272.5	181	0.09	26.9	382	0.20	211.0	501	0.24	131.2	400	0.18	79.8
新聞・雑誌		6,294	3.39	83.6	7,156	3.74	113.7	7,548	4.04	105.5	9,197	4.32	121.8	9,522	4.39	103.5
視聴覚資料		22,277	11.98	92.9	23,805	12.46	106.9	22,758	12.17	95.6	20,594	9.68	90.5	19,133	8.83	92.9
小計		54,461	29.29	93.3	54,278	28.40	99.7	60,452	32.33	111.4	70,523	33.15	116.7	69,491	32.07	98.5
貸出冊数計		185,906	100.00	98.3	191,120	100.00	102.8	187,007	100.00	97.8	212,759	100.00	113.8	216,686	100.00	101.8

（3） 図書資料貸出利用の年齢構成

区 分	利 用 者 数 （人）					貸 出 資 料 数 （冊）				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
23年度	13,881	29,805	18,043	3,002	64,731	39,145	85,983	48,472	12,306	185,906
構成比	21.44	46.04	27.87	4.64	100.00	21.06	46.25	26.07	6.62	100.00
24年度	13,379	30,919	19,233	3,311	66,842	38,250	89,779	50,959	12,132	191,120
構成比	20.02	46.26	28.77	4.95	100.00	20.01	46.98	26.66	6.35	100.00
25年度	13,126	30,205	19,894	2,590	65,815	38,073	85,335	52,384	11,215	187,007
構成比	19.94	45.89	30.23	3.94	100.00	20.36	45.63	28.01	6.00	100.00
26年度	13,321	29,482	20,381	3,650	66,834	42,900	96,898	58,967	13,994	212,759
構成比	19.93	44.11	30.49	5.46	100.00	20.16	45.54	27.72	6.58	100.00
27年度	12,599	28,836	21,487	3,179	66,101	41,837	97,667	63,987	13,195	216,686
構成比	19.06	43.62	32.51	4.81	100.00	19.31	45.07	29.53	6.09	100.00

（4） 図書資料予約受付数

区 分	予約受付冊数	うちインターネット予約	構成比
23年度	13,075	9,005	68.9%
24年度	13,496	9,715	72.0%
25年度	14,935	10,936	73.2%
26年度	17,771	13,729	77.3%
27年度	18,402	14,221	77.3%

（5） 市町村別利用（図書館間貸出）の推移

（単位：冊、%）

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比
山形市	78	1.11	129	1.63	212	2.26	157	1.50	126	1.11
寒河江市	118	1.68	209	2.65	103	1.10	158	1.51	83	0.73
上山市	73	1.04	111	1.41	108	1.15	83	0.79	83	0.73
村山市	213	3.02	148	1.88	134	1.43	64	0.61	44	0.39
天童市	63	0.89	56	0.71	80	0.85	110	1.05	84	0.74
東根市	95	1.35	94	1.19	86	0.92	82	0.78	56	0.49
尾花沢市	88	1.25	80	1.01	116	1.24	99	0.95	62	0.55
山辺町	84	1.19	123	1.56	656	7.00	757	7.24	904	7.97
中山町	100	1.42	13	0.16	30	0.32	249	2.38	144	1.27
河北町	115	1.63	102	1.29	47	0.50	70	0.67	67	0.59
西川町	555	7.88	669	8.48	460	4.91	338	3.23	691	6.09
朝日町	59	0.84	77	0.98	93	0.99	67	0.64	156	1.37
大江町	447	6.35	166	2.10	172	1.84	91	0.87	64	0.56
大石田町	53	0.75	53	0.67	69	0.74	112	1.07	144	1.27
村山地域計	2,141	30.40	2,030	25.73	2,366	25.26	2,437	23.31	2,708	23.86
新庄市	269	3.82	268	3.40	297	3.17	269	2.57	215	1.89
金山町	32	0.45	56	0.71	46	0.49	53	0.51	14	0.12
最上町	584	8.29	1163	14.74	2148	22.93	3,457	33.07	3,573	31.49
舟形町	16	0.23	21	0.27	39	0.42	85	0.81	73	0.64
真室川町	1227	17.42	1135	14.39	980	10.46	808	7.73	937	8.26
大蔵村	0	0.00	0	0.00	4	0.04	0	0.00	0	0.00
鮭川村	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
戸沢村	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	123	1.08
最上地域計	2,128	30.22	2,643	33.50	3,514	37.51	4,672	44.69	4,935	43.49
米沢市	211	3.00	195	2.47	245	2.62	273	2.61	232	2.04
長井市	260	3.69	157	1.99	305	3.26	272	2.60	238	2.10
南陽市	28	0.40	24	0.30	31	0.33	68	0.65	138	1.22
高畠町	26	0.37	24	0.30	36	0.38	35	0.33	38	0.33
川西町	30	0.43	23	0.29	24	0.26	37	0.35	44	0.39
小国町	82	1.16	72	0.91	313	3.34	126	1.21	250	2.20
白鷹町	229	3.25	440	5.58	298	3.18	453	4.33	232	2.04
飯豊町	242	3.44	416	5.27	210	2.24	190	1.82	384	3.38
置賜地域計	1,108	15.73	1,351	17.12	1,462	15.61	1,454	13.91	1,556	13.71
鶴岡市	235	3.34	194	2.46	278	2.97	177	1.69	180	1.59
酒田市	204	2.90	250	3.17	286	3.05	283	2.71	312	2.75
庄内町	203	2.88	165	2.09	228	2.43	226	2.16	148	1.30
三川町	82	1.16	113	1.43	149	1.59	142	1.36	80	0.70
遊佐町	62	0.88	67	0.85	48	0.51	48	0.46	48	0.42
庄内地域計	786	11.16	789	10.00	989	10.56	876	8.38	768	6.77
県内計	6,163	87.51	6,813	86.35	8,331	88.93	9,439	90.29	9,967	87.83
その他	173	2.46	190	2.41	168	1.79	154	1.47	471	4.15
県外	706	10.03	887	11.24	869	9.28	862	8.24	910	8.02
合　計	7,042	100.00	7,890	100.00	9,368	100.00	10,455	100.00	11,348	100.00

注）1　個人貸出冊数は、当館を利用した個人に対する館外貸出、館内貸出(閉架の資料)及び特別貸出の合計である。
　　※　特別貸出とは、利用上の制限(冊数、期間)を超えて貸し出すもので、読み聞かせや学校の授業等で利用する場合において実施しているものである。
　　2　相互貸借とは、利用者の希望により、当該図書館にない資料を、所蔵している他の図書館から借りる(他の図書館が貸す)ものである。
　　3　図書館間貸出は、相互貸借と一括特別貸出の合計である。
　　※　一括特別貸出とは、蔵書の少ない図書館等に対して、長期間、大量に貸し出すものである。
　　4　平成26年5月20日から、貸出冊数の上限を6冊から10冊に変更した。

（6）調査相談件数の内訳

① 部門別件数

（単位：件）

区分	K 郷土	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	Z 児童	S 新・雑	V 視聴覚	その他	計
23年度	1,328	72	320	469	815	349	358	188	402	115	1,343	458	312	141	10	6,680
24年度	1,271	90	339	574	811	444	349	214	388	142	1,423	423	288	259	33	7,048
25年度	1,239	85	329	493	740	345	393	223	343	179	1,398	637	262	195	46	6,907
26年度	1,154	73	266	533	615	343	268	187	369	118	1,329	644	336	126	33	6,394
27年度	1,642	75	322	563	775	358	297	168	368	101	1,326	837	281	133	26	7,272

② 調査内容別件数

（単位：件）

区分	所蔵	書誌	事実	文献	複写	案内	計
23年度	5,730	15	221	328	328	58	6,680
24年度	6,201	33	186	252	315	61	7,048
25年度	6,231	8	172	225	256	15	6,907
26年度	5,676	9	131	275	222	81	6,394
27年度	6,600	5	141	216	257	53	7,272

１２　平成27年度の主な取組み

１　運営関係

県立図書館のサービス向上や県内市町村図書館(室)との連携強化等に関して、次のような取組みを展開した。

(1) 利便性向上の取組み

① 特別整理期間の短縮

作業手順の見直しにより特別整理期間を、１０日間から９日間に短縮した。

② 館内への手荷物持ち込み解禁

開架図書へのＩＣタグ貼付、感知ゲート設置により館内への手荷物持ち込みを全面解禁した。

③ 蓋付き飲み物の持込み場所拡大

１階新聞雑誌閲覧コーナーに加え、１階ラウンジ、２階赤ちゃん絵本コーナー、２階ミニラウンジ（新設）で蓋付き飲み物の利用を解禁した。

(2) 利用拡大に向けた取組み

① 図書館の利用の仕方を案内する企画展示と体験講座の開催（４月～５月）

こどもの読書週間企画展で図書館の機能をわかり易く紹介

② 図書館ボランティアの導入（７月）

当館創立以来初めてとなる一般利用者を対象とした図書館ボランティアを導入（活動開始は８月）

③ 山形県立図書館だより「本の森通信」の創刊（８月）

年１回のみだった「山形県立図書館報」の発行を改め、年複数回発行の図書館だより「本の森通信」を創刊し、館内配置とあわせて県内公共図書館（室）及び県内高等学校等への配信を開始した。（１～３号及び「平成２６年度活動報告特別号」を発行）

④ 高校生の不読率低減に向けたはたらきかけ（２月）

山形市内の公立高校を訪問して、平成２８年度新入生への利用カード新規登録のはたらきかけを要請した。

⑤ 「パスファインダー」の充実（３月）

図書館所蔵図書による調べ方案内の資料を６テーマ追加し、１階と２階に配置

(3) 社会貢献活動の受入れに関する取組み

① 雑誌スポンサー制度

企業等による購入費用負担並びに提供雑誌への企業名等表示カバー装着（年度末で６社７誌）

(4) 県内市町村図書館(室)との連携強化に向けた取組み

① 県内市町村図書館(室)巡回訪問（５月～６月）

県内の市町立図書館及び町村公民館図書室を巡回し、各館(室)の取組みや要望の聞き取りを行うとともに、県立図書館所蔵資料の相互貸借・一括特別貸出の活用の周知を図った。

② 県内市町村図書館(室)職員への研修機会の提供（５月・１１月）

県外の先進的な公共図書館の職員を講師として、図書館危機管理研修会（５月)、資料デジタル化基礎研修会（１１月）を開催した。

③ 県内市町村図書館(室)との連携企画の実施（８月～１０月）

「秋の夜長にしみじみと味わってみたい大人の小説」をテーマに、当館及び県内市町村図書館(室)職員（３２３名）の投票によるお薦め本３６冊を１０月に選定、「山形県図書館大賞」作品として公表し、当館及び県内２２市町村図書館(室)で選定本の展示を実施した。(当館は１０～１２月展示)

(5) 県内学校図書館との連携強化

県内の公共図書館では、市町村図書館(室)が主に小中学校図書館、県立図書館が主に高等学校図書館と連携窓口を分担している。平成27年度は遊学館で高校司書研修会を共催（8/4）したことをきっかけに、遊学館・県立図書館を会場に山形県高等学校教育研究会図書館部会村山支部図書委員研修会・合同研修会が開催（11/6）され、県立図書館は紹介本ポップ制作実習及び図書館見学の協力を行った。

(6) 貴重所蔵資料デジタル化の取組み（平成２７年４月～平成２８年３月）

年代の古い所蔵資料について、和装本の集約、書誌データの確認など資料整理や専門家（山形大学人文学部教授・松尾剛次氏、上山市文化財保護審議会委員・片桐繁雄氏、山形県立米沢女子短期大学准教授・新藤透氏）による現物調査（約200冊）を行ったうえで、デジタル化の対象資料132冊を選定し、ホームページ上での公開に向け画像撮影（約20冊）に取り組んだ。

(7) 県立図書館の活性化に向けた動き

県民の知的活動を支える中核施設として、県立図書館の更なる活性化を図るため、平成２７年４月県教育庁に県立図書館活性化検討委員会が発足した。同委員会での検討・提言を受け平成２８年３月に「山形県立図書館活性化基本計画」が策定・公表された。

2　展示関係

利用者の関心や利便性を考慮して、昨年度に引き続き常設コーナー及び常設展示を設営した。また、書架に配列され目につきにくい図書を多くの利用者の手にとってもらうため、年間計画による企画展示や時宜に応じたテーマ展示にも取り組んだ。さらに、県の部局、関係団体の企画・イベントと連携した館内展示や館外での出張展示を実施した。

1　常設コーナー

(1) １階常設コーナー

「ぴっくあっぷブック」　両替機隣
７～３月：図書館職員のおすすめ本を毎月入替展示

「山形の作家たち」　ラウンジ（新着コーナー）付近／展示テーマ８件
前年度～6/20：山形の文学賞受賞作家たち
6/23～ 7/31：吉野弘と山形の詩人たち延長展示
8/ 4～ 8/30：加藤典洋の思索展
9/ 1～10/17：詩人・木村迪夫著作展
10/20～11/29：国分一太郎没後３０年展
12/ 4～ 1/10：祝・司馬遼太郎賞！飯嶋和一著作展示
12/15～ 1/10：祝・ミステリランキングランクイン！深水黎一郎・柚月裕子著作展示
1/12～次年度：山形のミステリーがすごい！
（彩坂美月、奥泉光、長岡弘樹、深町秋生、深水黎一郎、柚月裕子）

「季節の本」　１階調査相談カウンター／展示テーマ 12 件
カウンター職員のおすすめ本を入替展示
４月：桜と自転車　５月：カメラを持って自転車に乗って出かけよう
６月：和菓子　７月：人生がときめく!?魔法の本
８月：自由研究　自然観察の本　９月：天体観測
10月：不思議の国のアリス発刊 150 年　11月：星の王子さま
12月：冬こそ映画／追悼・水木しげる展示　１月：真田三代と刀とお城
２～３月：お気に入りの文房具を見つけよう!!

「3.11 を忘れない」　東階段付近
震災関連図書・資料や震災ボランティアに関する展示

「レシピ本コーナー」　家政学・生活科学書架隣接／展示テーマ 12 件
カウンター職員（５類家政学・生活科学選書担当）のおすすめ本を入替展示
４月：家事のキホン　５月：体にいい健康レシピ
６月：梅雨を乗り切るレシピ　７月：スタミナレシピ
８月：野菜レシピ　９月：和食（秋の食材）
10月：オクトーバーフェスト〈ビールやおつまみ、ヴルスト関係レシピ〉
11月：お手軽レシピ〈作りおきレシピ〉　12月：鍋レシピ
１月：低カロリーレシピ　２月：バレンタイン
３月：2015 年人気レシピ本特集

「医療情報コーナー」　医学・薬学書架の一部／闘病記・介護体験記集約

「キッズ・ファミリーコーナー」　視聴覚書架の一部／児童向け視聴覚資料集約

「楽らく文庫」　視聴覚書架の一部／大活字本・朗読ＣＤ集約

(2)　２階常設コーナー

「山形県児童文学・絵本作家の作品」　中央階段付近／不定期入替

「かみしばいコーナー」　中央階段付近／毎月入替

「赤ちゃん絵本コーナー」　児童書エリア／乳幼児向け絵本

２　常設展示

「ビジネス支援コーナー」
「くらしに役立つ情報コーナー　くらしの道しるべ」 テーマ「介護・福祉」(前年度～4/21) テーマ「図書館」(5/19～10/25) テーマ「環境・エコ」(12/8～次年度) 連携：地球温暖化防止月間(12月)・冬の省エネ県民運動(12～３月)
「ティーンズコーナー」

３　年間計画による企画展示（追加展示を含む）

「図書館のちから　本の案内人からあなたへ」(4/21～5/16)　こどもの読書週間企画展 図書館や本がテーマの絵本、長く愛されるロングセラー絵本の展示 図書館の歴史と活用方法、本のみつけ方、予約や取り寄せのコツをパネルで掲示 山形新聞に関連記事が掲載(4/22)されるとともに、ＹＢＣ（山形放送）「ピヨ卵ワイド街角伝言板」でお知らせが放映(4/23)された。
「虫、ムシ・むしの本」(6/23～7/18) さまざまな虫や虫の探し方、飼い方を紹介する本、虫が出てくる絵本等を展示 ＮＨＫ山形放送局のローカルニュース「あすの動き」で展示の開始が紹介(6/22)されるとともに、山形新聞に関連記事が掲載(6/26)された。
「戦後７０年展示　～平和を考える～」(7/21～8/30) 戦後７０年にあたり、戦争や平和に関する資料（一般資料、郷土資料、児童書）を展示 地元テレビ局のローカルニュースで放映された。 7/22ＴＵＹ　7/31ＹＢＣ（山形放送） 8/12ＹＴＳ（山形テレビ）　8/13ＹＢＣ（山形放送） また、山形新聞に関連記事が掲載(7/30)された。
「なつやすみ特集」(7/21～8/30) 自由研究・工作に役立つ本、読書感想文課題図書の展示 山形新聞に関連記事が掲載(8/4)された。
「２０１４～２０１５県内出版物展」(10/20～11/14)　秋の読書週間企画展 山形新聞に関連記事が掲載(11/11)された。
「おたんじょうび、おめでとう！絵本特集」(11/17～12/19) ＮＨＫ山形放送局のローカルニュースで、展示の様子が放映された（11/24 朝・昼）
「ふゆの絵本　お正月の絵本」(12/22～1/16)
「ビジネス支援図書拡大展示」(1/19～3/19) 2015年出版本を中心に就職、経営、就農などビジネス関連図書を展示 同時に連携先のポスター・パネル掲示、チラシ・パンフレット等配置 ・ハローワークやまがた（就職支援） ・山形県若者就職支援センター（就職支援） ・やまがた若者サポートステーション（就労支援等）

・山形県企業振興公社（新規創業、中小企業の支援） ・やまがた農業支援センター（新規就農等の支援） ・山形県／人事委員会（県職員採用） ・日本政策金融公庫（創業支援）
「文学賞等受賞作品展示」(3/22～4/16)

４　折々のテーマ展示

「3.11 を忘れない　拡大展示」（前年度～4/18）
「敬老の日おすすめの本」(9/1～9/30)
「高校生制作ポップ＆紹介本展示」（12/1～12/27） 遊学館と当館で開催された山形県高等学校教育研究会図書館部会村山支部図書委員研修会・合同研修会（11/6）で高校生が作ったポップとその紹介本を展示
「郷土関係貴重資料特別展示」（12/5～12/13） 当館所蔵郷土資料のデジタル化を進めるため専門家による事前調査で発見された貴重資料を展示（12/4 記者発表） ＜展示資料＞ 「義光物語 全」「最上物語 一～六」「最上盛衰記 上・中・下」「景勝公御武功記全」「戊辰戦争始末」ほか

５　連携展示

(1) 行政課題・地域課題連携

「ふるさと文学交流展」（前年度～4/18）　ふるさと知事ネットワーク連携 「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」１３県ゆかりの郷土関係作家の代表作品を展示
「土砂災害防止月間連携展示」(5/28～6/20)　県砂防・災害対策課連携 「土砂災害防止月間（６月)」にあわせて自然災害や防災に関する資料を展示 同時に蔵王山（蔵王温泉）と白根山（草津温泉）の観光ＰＲも実施
「『食』をみつめなおす」(9/1～9/27)　県教育庁スポーツ保健課連携 食育関連資料（歴代給食のサンプル等）の展示とあわせて食育・給食関連図書、料理本や食にかかわる小説・エッセイ等を展示 山形新聞に関連記事が掲載(9/21)された。なお、県政広報番組「やまがたサンデー５（ＹＢＣ)」(11/1)の中で教育庁担当者が県立図書館の展示をコメントした。
「自然災害を知る展示」(10/27～11/29)　県砂防・災害対策課連携 遊学館ギャラリーにおける「土砂災害防止に関する絵画・作文地方審査入賞作品展示」(10/27～11/6）にあわせて自然災害や防災に関する資料を展示
「山形の先生からのおくりもの　～未来の山形を担う心豊かでたくましい子どもたちへ～」(10/31～12/2)　県教育庁総務課連携 「やまがた教育の日」心をつなぐ読育推進事業の一部として、県内の先生が児童生徒向けに薦めたい本（教育庁アンケート）を「やまがた教育の日(11月第２土曜日)」、「やまがた教育月間(11月)」にあわせて展示

「自殺対策強化月間連携展示」(3/1～3/25)　県村山保健所連携
「自殺対策強化月間（３月)」にあわせて実施

「3.11を忘れない　拡大展示」(3/1～次年度)　県復興・避難者支援室連携
東日本大震災から５年を機に、当館の収集及び寄贈を受けた東日本大震災及び福島原子力災害関係の資料約1,700点のうち約600点を展示するとともに、「避難者用借り上げ住宅」に関する山形県行政関係資料をあわせて展示
読売新聞に関連記事が掲載(3/12)された。

(2) 図書館連携

「山形県図書館大賞」(10/27～12/6)
県立図書館及び県内市町村図書館(室)による連携実施
「秋の夜長にしみじみと味わってみたい大人の小説」をテーマに、県内公共図書館(室)職員の投票により、第１回の山形県図書館大賞36作品を選定・発表し、県内23公共図書館(室)で展示を実施
山形新聞に関連記事が掲載(10/28)された。

「山形県図書館大賞延長展示」(12/8～1/16)　同上

(3) 遊学館イベント、その他との連携

「小説家（ライター）になろう講座連携展示」
文学賞受賞作家による講座（さくらんぼテレビ主催）にあわせて講師の著作を展示

畠中　恵	前年度～4/12	(講座　3/22)
野村　進	4/26～ 5/ 6	(講座　4/26)
島本　理生	5/24～ 6/ 7	(講座　5/24)
森村　誠一	6/28～ 7/12	(講座　6/28)
小池　真理子	7/26～ 8/ 9	(講座　7/26)
穂村　弘	8/23～ 9/ 6	(講座　8/23)
松浦　理英子	9/27～10/ 4	(講座　9/26)
堂場　瞬一	10/25～11/ 8	(講座 10/25)
角田光代＆井上荒野	11/23～12 /6	(講座 11/22)
辻原　登	12/23～ 1/10	(講座 12/13)
三浦　しをん	1/24～ 2/ 7	(講座　1/24)
千早　茜＆村山由佳	2/28～ 3/13	(講座　2/28)
桜木紫乃＆花房観音	3/27～次年度	(講座　3/27)

「居酒屋と酒と肴を楽しむ♪展示」(4/15～5/27)
山形市七日町花小路振興会「ドリンクテーリング」にあわせて実施

「前田慶次関連本展示」(4/21～6/14)
ＮＨＫ木曜時代劇「かぶき者慶次」の放映にあわせて実施

「吉野弘とやまがたの詩人たち」(5/19～6/20)
山形新聞「やまがた名詩散歩」の連載記事で紹介された本県出身物故詩人の所蔵詩集と現在活躍している県内詩人の所蔵詩集をあわせて展示

山形新聞に関連記事が掲載(6/13)された。
「観てから読む？読んでから観る？」(9/29～10/17) 山形国際ドキュメンタリー映画祭2015のコンペティション部門ノミネート15作品について、各作品の対象地域やテーマに関する蔵書を展示 山形新聞の社説(9/30)に取り上げられた。
「詩人・木村迪夫著作展示」(10/1～10/17) 山形国際ドキュメンタリー映画祭 2015 での「無音の叫び声　農民詩人木村迪夫の牧野村物語」上映にあわせた著作の展示
「長谷川竹葉『錦絵　山形県新築之図』特別展示」(11/10～11/21) 山形県生涯学習文化財団（文翔館・遊学館・洗心庵）・県立博物館教育資料館合同企画「三島が歩いた道～歴史文化ゾーンを巡る～」にあわせ、当館縣人文庫室において特別展示を実施 山形新聞の合同企画関連記事(11/13)において取り上げられた。

６　出張（出前）展示

「親子で楽しく絵本を作ろう♪～「泣いた赤おに」その後の物語～」展示（4/25） 展示会場：山形県生涯学習センター「遊学館」 主 催 者：ＮＨＫ山形放送局 概　　要：山形発・地域ドラマ「私の青おに」関連イベント親子体験教室の会場において絵本等を展示 図書館利用啓発資料の掲示、配置、案内 イベント会場の設営及び運営に協力
「子育て応援団　すこやか2015」展示（6/27～6/28） 展示会場：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」 主 催 者：子育て応援団実行委員会ほか 概　　要：子育て関連資料・図書館利用啓発資料の掲示、配置、工作遊び
「読育推進連携講座」展示（7/29） 展示会場：県立博物館 主 催 者：県教育委員会（文化財・生涯学習課） 概　　要：体験教室・読み聞かせ会の会場において絵本等を展示 図書館利用啓発資料の掲示、配置
「白い森芸術祭」展示（11/24） 展示会場：おぐに開発総合センター 主 催 者：小国町教育委員会 概　　要：読み聞かせ会・ブックカフェ会場において絵本その他展示 当館の利用啓発資料の掲示、配置 展示図書の貸出（おぐに開発総合センター図書室で貸出手続き） 〔市町村図書館(室)と初めての共催事業〕

３　イベント関係

図書館利用者のすそ野の拡大を図るため、昨年度に引き続き参加型イベントなど持続的な企画に取り組んだ。また、図書館への親しみやにぎわいを醸成するため、各種団体と連携して小規模イベントを開催した。

５月・６月　「図書館のぼうけん」

開館時間中の図書館フロアを会場に、館内に隠されたキーワードを探す体験型ゲームによる図書館探検を開催した。

開催日：５月３０日（土）及び６月６日（土）

対象者：児童とその保護者　　参加者：２８人

６月　「山形の詩　朗読の夕べ」

山形新聞連載「やまがた名詩散歩」との連携企画として、閉館後の図書館フロアを会場に、山形県詩人会会員７名による詩の朗読（解説）会を開催した。山形新聞の記事(6/13)で開催が紹介された。

開催日：６月１４日（日）　　協　力：山形県詩人会

対象者：一般　　参加者：３８人

10月　「木村迪夫の詩を語る集い」

山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映されたドキュメンタリー映画「無音の叫び声　農民詩人木村迪夫の牧野村物語」との連携企画として、遊学館第１研修室を会場に詩人木村迪夫氏、監督原村政樹氏を招いてシンポジウムを開催した。山形新聞の社説(9/30)で開催が取り上げられた。

開催日：１０月１１日（日）　　協　力：山形県詩人会

対象者：一般　　参加者：４２人

12月　「県立図書館クリスマス・フェスタ」

図書館、遊学館を会場にクリスマスにちなんだ初めてのブックイベントを開催した。

場所等：図書館（クリスマスツリー設置、ラッピングブック貸出、地下書庫探検ツアー）
遊学館ギャラリー（手作り楽器のミニライブ）
遊学館エントランス（一箱古本市）

開催日：１２月１９日（土）　　協　力：一箱古本市＠山形実行委員会

対象者：一般

参加者：地下書庫探検ツアー参加者３７人、一箱古本市出店数２４店
入館者数 1,452 人（参考：H26 年 12 月平均入館者数 591.4 人／日）

４　その他

県立図書館クリスマス・フェスタについてＮＨＫ山形放送局のテレビ番組「やまモリ！」でイベントの案内が放映(12/9)されるとともに、同局のローカルニュースで地下書庫探検ツアー等の様子が放映(12/19)された。

13　利　用　の　案　内

開館時間

午前９時から午後７時まで

休 館 日

毎週月曜日
第３日曜日
年末年始（12月29日～１月３日）
特別整理期間

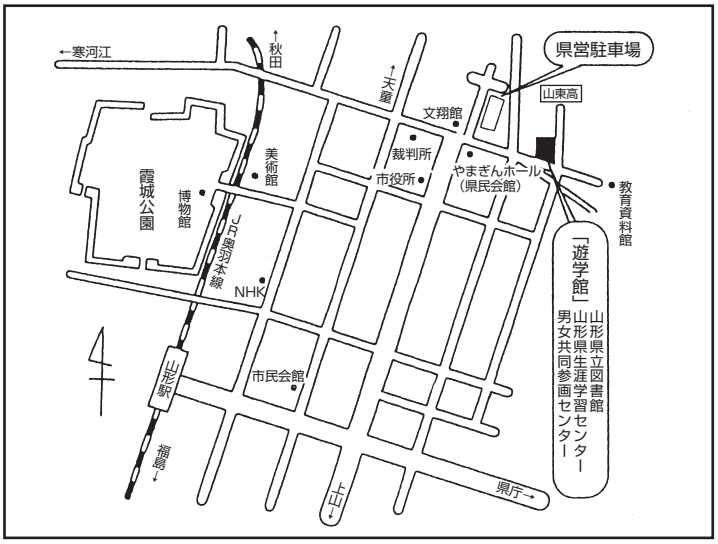
貸　　出

- 借りる時は、利用カードが必要です。
- 図書の貸出は、10冊まで３週間以内です。
- 視聴覚資料（DVD・ビデオ・CDなど）の貸出は、３点まで１週間以内です。
- 図書・視聴覚資料の合計で10点以内となります。
- 「参考書」「禁帯出」のラベル表示のある資料及び貴重資料は、館内でのみご覧ください。
- インターネット予約パスワードをお持ちの方は県立図書館HPから予約することが出来ます。
  また、予約された資料は、県内のお近くの図書館（一部の図書館を除く）で受け取ることができます。

交通案内

バス利用の場合	①　山形駅前から千歳公園待合所行または沼の辺行で遊学館前下車（徒歩１分）
	②　山形市役所経由路線で市役所前下車（徒歩６分）
タクシー利用の場合	山形駅前から約10分
駐車施設	車でおいでの方は、県営駐車場をご利用ください。（２時間まで無料）

位 置 図



14　市町村立図書館の設置状況　（平成 28 年 4 月 1 日現在）

⊙図書館設置市町
● 公民館図書室等
自 自動車文庫運営市町

図書館設置市町村

	市町村数	図書館設置市町村
市	13	13
町	19	9
村	3	—
計	35	22

図書館図書室設置市町村の推移

年　度	図書館	増加館	図書室	新築館
昭和57(1982)	19		25	酒田市立
58(1983)	20	高畠	24	天童市立
59(1984)	20		24	
60(1985)	20		24	鶴岡市立
61(1986)	21	櫛引	23	櫛引町立
62(1987)	21		23	
63(1988)	21		23	新庄市立
平成元(1989)	21		23	
2 (1990)	22	遊佐	22	山形県立
3 (1991)	22		22	寒河江市立
4 (1992)	22		22	遊佐町立
5 (1993)	22		22	
6 (1994)	22		22	川西町立
7 (1995)	22		22	河北町立 上山市立
8 (1996)	22		22	尾花沢市民
11(1999)	23	東根	21	東根市さくらんぼ
12(2000)	23		21	朝日町立 南陽市立
17(2005)	21		14	
24(2012)	22	中山	13	中山町立

※平成17年度は市町村合併による減少である

15 県 内 の 図 書 館 等

(1) 県内図書館

市町村名	職員数 うち上段()内は兼任職員数(人) H28.4.1 現在				左のうち司書・司書補数 うち上段()内は兼任職員数(人) H28.4.1 現在				蔵書冊数 H28.3.31 現在	増加冊数 27年度中	資料費		人口(推計) H28.4.1 (B)	28年度1人当り資料費 A/B	貸出状況(27年度分)				
															個人		団体		貸出点数合計
															登録者数(人)				
	正職員	非常勤職員	臨時職員	委託・派遣職員	正職員	非常勤職員	臨時職員	委託・派遣職員	冊	冊	26年度決算額 千円	28年度予算額(A) 千円	人	円	累計(27年度)	貸出点数 冊(点)	登録団体数(27年度実績)	貸出点数 冊(点)	冊(点)
山形市	15		23.3		3		3.1		396,346	−1,033	22,856	24,206	251,738	96	41,011	1,024,491	291	15,094	1,039,585
米沢市	2			19				12	290,850	16,144	30,962	15,900	85,157	187	31,048	281,946	101	32,751	314,697
鶴岡市	(9) 9	1	13	3	(1) 1		8		377,661	6,558	17,114	17,829	128,563	139	27,478	441,694	235	21,092	462,786
酒田市	(5) 13	3	20		2		9		330,255	12,189	22,982	22,419	105,564	212	15,917	507,515	65	12,778	520,293
新庄市				10				7	138,154	1,919	3,740	3,731	36,484	102	28,495	150,521	128	18,914	169,435
寒河江市	1	2		8		1		3	138,976	3,275	8,532	9,084	41,052	221	10,012	156,383	181	9,315	165,698
上山市	3	4	4	0.4	1	3	1	0.2	153,574	1,837	5,447	6,120	31,365	195	22,761	86,541	68	1,629	88,170
村山市	2	2	6				4		113,024	5,775	7,980	8,310	24,484	339	13,566	138,127	241	11,839	149,966
長井市	8				4				100,481	1,256	3,673	3,703	27,463	135	9,496	94,400	50	11,907	106,307
天童市				16				6	203,327	771	11,575	11,667	62,194	188	47,875	255,664	148	29,513	285,177
東根市	(1) 1			9				5	45,659	1,487	4,641	2,321	47,720	49	28,893	82,333	38	1,656	83,989
尾花沢市	(3) 3			8				2	138,589	612	4,687	4,660	16,749	278	6,577	96,351	22	10,255	106,606
南陽市		6	3			4			83,980	1,118	3,051	3,151	32,103	98	16,317	104,048	22	1,375	105,423
中山町	(2) 3			8				4	49,226	5,098	6,532	6,551	11,292	580	5,076	80,553	9	876	81,429
河北町	(1) 1			9				6	111,582	1,224	5,934	5,860	18,930	310	14,190	73,791	68	16,554	90,345
西川町	(3) 3	1	2			1	2		61,349	1,577	1,673	1,770	5,551	319	1,463	47,087	26	3,942	51,029
朝日町	(2) 2		4				1		38,949	703	1,567	1,650	7,033	235	4,073	17,345	8	705	18,050
高畠町	(1) 2	4		1		4			77,713	1,308	1,912	1,900	23,622	80	5,173	51,954	17	3,984	55,938
川西町				8				4	59,290	1,416	2,420	2,300	15,575	148	12,188	23,768	179	5,388	29,156
白鷹町	(2) 2	1	3				2		52,319	1,239	1,852	1,852	14,113	131	1,278	25,008	16	550	25,558
庄内町	2	4	1		1	1			114,371	−1,969	5,392	5,279	21,505	245	8,715	63,656	67	8,957	72,613
遊佐町				8				1	86,963	858	3,209	3,430	14,104	243	6,713	42,887	66	9,671	52,558
計	(29) 72.0	(0) 28.0	(0) 79.3	(0) 107.0	(1) 12.0	(0) 14.0	(0) 30.1	(0) 50.0	3,162,638	63,362	177,731	163,693	1,022,361	160	358,315	3,846,063	2,046	228,745	4,074,808
平均	(1.32) 3.27	(0.00) 1.27	(0.00) 3.60	(0.00) 4.86	(0.05) 0.55	(0.00) 0.64	(0.00) 1.37	(0.00) 2.27	143,756	2,880	8,079	7,441	46,471	160	16,287	174,821	93	10,398	185,219

(2) 公民館図書室

市町村名	職員数 うち上段()内は兼任職員数(人) H28.4.1 現在				左のうち司書・司書補数 うち上段()内は兼任職員数(人) H28.4.1 現在				蔵書冊数 H28.3.31 現在	増加冊数 27年度中	資料費		人口(推計) H28.4.1 (B)	28年度1人当り資料費 A/B	貸出状況(27年度分)				
															個人		団体		貸出点数合計
															登録者数(人)				
	正職員	非常勤職員	臨時職員	委託・派遣職員	正職員	非常勤職員	臨時職員	委託・派遣職員	冊	冊	26年度決算額 千円	28年度予算額(A) 千円	人	円	累計(27年度)	貸出点数 冊(点)	登録団体数(27年度実績)	貸出点数 冊(点)	冊(点)
山辺町	(2) 2		2				2		23,867	626	999	1,000	14,318	70	2,885	36,120	4	21	36,141
大江町	(4) 4		1						29,109	184	887	1,467	8,421	174		2,173	3	424	2,597
大石田町	(6) 8		1		2				31,725	−6,583	871	873	7,264	120	352	4,954	9	1,785	6,739
金山町	(3) 3	1							31,374	148	220	220	5,740	38	1,180	941	4	240	1,181
最上町	(3) 3		2		(1) 1				25,770	245	600	300	8,738	34	877	9,932			9,932
舟形町	(3) 3		1						8,685	389	134	300	5,543	54	328	786	4		786
真室川町	(5) 5	2				1			15,754	−164	288	310	8,045	39	47	1,234			1,234
大蔵村	(4) 4		1						10,597	88	120	120	3,360	36	18	229	2		229
鮭川村	(5) 5	1	1						12,153	86	66	100	4,270	23		664		8	672
戸沢村	(3) 9		4				1		7,277	290	299	300	4,721	64	290	2,358	13	1,326	3,684
小国町	(3) 3		2	2					23,554	−2,602	1,029	960	7,765	124	1,512	11,141	3	1,005	12,146
飯豊町	(5) 5		1						30,117	576	1,071	1,263	7,220	175	4,750	11,563	37	1,582	13,145
三川町	(1) 1	1	1				1		17,738	434	514	514	7,709	67	943	10,733			10,733
計	(47) 55.0	(0) 5.0	(0) 17.0	(0) 2.0	(1) 3.0	(0) 1.0	(0) 4.0	(0) 0.0	267,720	−6,283	7,098	7,727	93,114	83	13,182	92,828	79	6,391	99,219
平均	(3.62) 4.23	(0.00) 0.38	(0.00) 1.31	(0.00) 0.15	(0.08) 0.23	(0.00) 0.08	(0.00) 0.31	(0.00) 0.00	20,594	−483	546	594	7,163	83	1,014	7,141	6	492	7,632
市町村合計	(76) 127.0	(0) 33.0	(0) 96.3	(0) 109.0	(2) 15.0	(0) 15.0	(0) 34.1	(0) 50.0	3,430,358	57,079	184,829	171,420	1,115,475	154	371,497	3,938,891	2,125	235,136	4,174,027
県立図書館	18	22	1		4	19			672,726	13,860	22,776	22,411	1,115,475	20	103,141	216,686	2	94	216,780
計	(76) 145.0	(0) 55.0	(0) 97.3	(0) 109.0	(2) 19.0	(0) 34.0	(0) 34.1	(0) 50.0	4,103,084	70,939	207,605	193,831	1,115,475	174	474,638	4,155,577	2,127	235,230	4,390,807

(注)
1 兼任職員は、正職員のうち、図書館以外の職務が本務である者。
2 非常勤職員は、地方公務員法第3条3項3号の職員など報酬が支給される者。嘱託職員を含む。
3 臨時職員は、地方公務員法第22条2項、5項の職員など賃金が支給される者。いわゆるパート、アルバイトはここに含む。
4 委託・派遣職員は、委託契約や派遣契約に基づいて図書館に配置され業務を行う者。その業務内容が清掃、設備管理、警備などが主である者は除く。指定管理者の職員はここに含む。
5 蔵書冊数は、所蔵する図書の総冊数。(雑誌、視聴覚資料等、録音図書、電子的資料は含めない)
6 増加冊数は、当該年度年間受入図書冊数から除籍冊数を差し引いた数とする。
7 資料費は、図書、雑誌新聞、視聴覚資料、その他の資料に係る経費とする。
8 登録者数は、平成28年3月31日現在登録している数で、新規登録者のみではない。
9 貸出点数は、個人又は団体に貸出した資料数。雑誌、視聴覚資料も含む。
10 団体数は、登録団体のうち、平成27年度内に貸出のあった団体数。述べ数ではない。団体貸出として登録し貸出している学校、学校図書館があればそれも含む。

16 縣人文庫展示者のプロフィール

政治経済の分野で活躍した人々

ひらた　とうすけ
平田　東助　米沢市　1849 年～1925 年　政治家、産業組合運動の指導者、内大臣、伯爵

ドイツで学んだ信用組合論を基に、農民の経済自立、自主経営の組織化をめざして、産業組合制度を精力的に推進した。

いけだ　せいひん
池田　成彬　米沢市　1867 年～1950 年　銀行家、三井財閥の指導者

積極的な反面、合理的で冷静な判断で三井銀行の発展に活躍。日本銀行総裁、蔵相兼商工相、枢密顧問官を歴任。

ゆうき　とよたろう
結城　豊太郎　南陽市　1877 年～1951 年　銀行家、財政家

安田財閥の指導者、日本興行銀行総裁として昭和初期の不況対策に、また、日本銀行総裁としては戦時金融に指導力を発揮、活躍した。

海外で活躍した人

あだち　みねいちろう
安達　峰一郎　山辺町　1869 年～1934 年　外交官、国際法学者、常設国際司法裁判所長

第一次大戦後の複雑な国際情勢の中で、少数民族の権利擁護のために尽くした努力は、各国から高く評価されている。

芸術の分野で活躍した人々

しんかい　たけたろう
新海　竹太郎　山形市　1868 年～1927 年　彫刻家

従来の洋風彫刻がイタリア系であったのに対して、北欧的な格調を持つ作品が注目された。「ゆあみ」はその代表作。

こまつ　ひとし
小松　均　大石田町　1902 年～1989 年　日本画家、文化功労者

最上川の全ルートを描くのを念願とした壮大な連作「最上川シリーズ」で芸術選奨文部大臣賞受賞、「雪の最上川」は院展内閣総理大臣賞受賞。

文学の分野で活躍した人々

たかやま　ちょぎゅう
高山　樗牛　鶴岡市　1871 年～1902 年　文学者、評論家

「滝口入道」は若い読者から熱狂的な支持を得、「帝国文学」「太陽」の文芸欄での発言は、青年層に大きな影響を与えた。

さいとう　もきち
斎藤　茂吉　上山市　1882 年～1953 年　歌人、医師、文化勲章受賞、文化功労者

第一歌集「赤光」で一躍有名となり、「短歌写生の説」を実践、「実相観入」を提唱。「アララギ」主宰。歌集のほか、評論など多くの分野で活躍した。

はまだ　ひろすけ
浜田　広介　高畠町　1893 年～1973 年　童話作家

近代日本における幼年童話の創始者。作品は一般に「ひろすけ童話」と愛称され、年少児のための童話に新境地を開いたものと評価されている。

学術の分野で活躍した人々

いとう　ちゅうた
伊東　忠太　米沢市　1867 年～1954 年　建築史家、建築家、文化功労者、文化勲章受章

日本で初めて建築を一つの科学となし、日本の建築芸術の発展経路を明らかにした。設計した作品は、平安神宮、築地本願寺等。

くさかべ　しろうた
日下部 四郎太　山形市　1875 年～1924 年　　物理学者

「岩石の力学的研究」で、わが国の物理学では２回目、東北大学では第１号の帝国学士院賞受賞。

おりしも　よしのぶ
折下 吉延　新庄市　1881 年～1966 年　　造園家

橿原神宮林苑、明治神宮林苑の造成、関東大震災後の東京・横浜の都市計画に、戦後は国立公園や自然公園の保護等に尽力した。

あべ　じろう
阿部 次郎　酒田市　1883 年～1959 年　　哲学者、美学者、評論家

「三太郎の日記」によって多くの読者をひきつけ、人格主義を鼓吹して大正時代の思想に大きな影響を与えた。

おぐら　きんのすけ
小倉 金之助　酒田市　1885 年～1962 年　　数学者、数学教育学者

数学史、数学教育、科学論等に優れた論著が多い。とくに「数学教育の根本問題」は、数学界に大きな刺戟を与えた。

たかはし　さとみ
高橋 里美　米沢市　1886 年～1964 年　　哲学者、文化功労者

「包越の論理」にもとづく独自の観念論的哲学体系を組み立てた。純粋理論としての哲学で「最も哲学的な哲学」といわれる。

ほんま　ひさお
本間 久雄　米沢市　1886 年～1981 年　　文芸評論家、英文学者、日本近代文学研究家

外国文学のみならず美術や演劇にわたる広範な知識を背景に、日本近代文学研究に新たに開拓した業績が多い。

ひらつか　ひできち
平塚 英吉　新庄市　1888 年～1984 年　　農芸化学者、文化功労者

絹糸生成や蚕栄養に関する基礎的な研究等、蚕糸学に関する研究に大きな功績を残した。

にいぜき　りょうぞう
新関 良三　河北町　1889 年～1979 年　　演劇学者、ドイツ文学者、文化功労者

「ギリシャ・ローマ演劇史」は、もっとも優れた西欧古代劇の研究であると同時に、日本人による外国文学研究の最高峰とされている。

おおくま　のぶゆき
大熊 信行　米沢市　1893 年～1977 年　　経済学者、評論家、歌人

「生命再生産の理論」「資源配分の理論」等、人間中心の経済学を構想した経済学上の業績の他に、歌人としての業績も多い。

さがら　もりお
相良 守峯　鶴岡市　1895 年～1989 年　　ドイツ文学者、ゲーテ研究の権威、文化功労者、文化勲章受章

独和、和独事典の編集で著名。「ドイツ中世叙事詩研究」等、日本における中世ドイツ文学研究の基礎をつくった。

わがつま　さかえ
我妻 栄　米沢市　1897 年～1973 年　　法律学者、文化功労者、文化勲章受章

法解釈に新分野をひらき、独自の民法体系をつくりあげた「我妻民法」で知られる日本民法学界の最高峰。

ほりごめ　ようぞう
堀米 庸三　河北町　1913 年～1975 年　　西洋史学者

戦後のヨーロッパ中世史研究を主導した一人。その門下からわが国の西洋史学研究に多くの後継者が輩出した。

17　山形県立図書館利用規程

（平成26年1月21日文生第1378号県教育長承認）

（趣旨）

第１条　この規程は、教育機関の組織及び運営に関する規則（昭和４１年４月県教育委員会規則第２号）第１３号の規定に基づき、山形県立図書館（以下「本館」という。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

（利用カード）

第２条　本館の資料を利用する場合には、開架資料を館内で利用する場合を除き、利用カードによって行わなければならない。

２　前項に定める利用カードの交付を受けることのできる者は、県内に住所を有する者又は県内に通勤若しくは通学する者とする。

３　利用カードの交付を受けようとする者は、住所等を証明する書類を提示のうえ、利用カード申込書（別記様式第１号）を館長に提出し、利用者の登録をしなければならない。

４　館長は、利用者が最後に利用してから５年間利用しない場合は、利用者の登録を取消すことができる。

５　利用カードの交付を受けた者は、申込書の記載事項に変更が生じたときは、利用カード申込書により速やかにその旨を館長に届け出なければならない。

６　利用カードを亡失した者は、その旨を速やかに館長に申し出なければならない。

７　利用カードを亡失し、又は毀損した者は、利用カード申込書を提出することにより、利用カードの再交付を受けることができる。

８　利用カードは、他人に貸与してはならない。

９　第２条第５項、第６項及び第８項に違反する行為によって生じた本館の損害については、利用カードの交付を受けた者が負担しなければならない。

（館外利用の方法）

第３条　本館以外の場所（以下「館外」という。）で資料を利用しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示し、館外貸出の手続きをとらなければならない。

２　利用者は自動貸出機を使用して、自ら館外貸出手続きをすることができる。

３　利用者が利用カードを持参しなかった場合は、仮貸出票（別記様式第２号）を係員に提出することにより、資料の館外貸出を受けることができる。

（館外利用点数）

第４条　館外で利用できる資料の点数は、未返却資料を含め１０点以内とする。

２　館外で利用できる視聴覚資料は３点以内とし、前項に定める利用点数に含むものとする。

３　館長は、必要と認めたときは、貸出点数を制限することができる。

（館外利用期間）

第５条　館外で資料を利用できる期間は、貸出を受けた翌日から３週間以内とする。

２　視聴覚資料の館外での利用期間は、貸出を受けた翌日から１週間以内とする。

３　館長は、必要と認めたときは、前２項の期間内であっても資料の返却を求めることができる。

（館外利用の制限）
第６条　次の各号に掲げる資料は、館内でのみ利用することができる。
（１）官報、山形県公報及び新聞
（２）逐次刊行物の最新号
（３）郷土資料（ただし、２冊以上の複本のあるものを除く。）
（４）参考図書として指定したもの
（５）マイクロフィルム資料
（６）その他館長の指定したもの
（館内利用の方法）
第７条　本館の資料は、館内の所定の場所において自由に利用することができる。
２　視聴覚資料を館内で視聴しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示して借り受け、所定の場所で利用しなければならない。ただし、マイクロフィルムを利用する場合は、利用申込票（別記様式第３号）を係員に提出しなければならない。
３　視聴覚資料を館内で視聴できる点数は、一人一日２点以内とする。
４　CD-ROM 媒体又はインターネット上の各種データベースを館内で利用しようとする者は、利用申込票を係員に提出し、所定の場所で利用しなければならない。
５　閉架資料を利用しようとする者は、貸出請求票又は資料請求票（別記様式第４号）を利用カードとともに係員に提出しなければならない。
（返納）
第８条　利用者は、館外貸出を受けた資料を所定の貸出期間内に係員に返納しなければならない。
２　開館時間外にあっては、視聴覚資料及び大型本を除く資料はブックポストに返却することができる。
３　利用者は、館内での資料の利用が終ったときは、開架資料は利用者自らが開架書架の配架場所に返却し、閉架資料及び視聴覚資料はそれぞれ係員に返納しなければならない。
（督促及び貸出停止）
第９条　館長は、貸出期間を過ぎても資料を返却しない利用者に対し、督促を行うことができる。
２　館長は、前項の督促を引き続き３回以上受けた利用者に対し、資料が返却されるまでの間、新規の貸出を停止することができる。
（弁償）
第１０条　利用者は、資料を亡失若しくは汚損したときは、速やかに資料紛失毀損届（別記様式第５号）を館長に提出するとともに、その損害を弁償しなければならない。
２　前項に規定する資料の損害は、現品又は相当の金額で弁償するものとする。ただし、現品での弁償が困難な場合は、同等品をもって弁償することができる。
３　館長は、督促をしても返却に応じない第９条第２項の利用者に対して、前２項により弁償を求めることができる。
（インターネット予約貸出）
第１１条　中学生以上で、電子メールアドレスを保有している者は、インターネット予約貸出を受けることができる。
２　インターネット予約貸出を受ける者は、第２条に定める利用カードの交付とインターネット予約貸出用パスワードの発行を受けなければならない。

３　前項の規定により登録した者は、本館ホームページの「インターネット予約貸出申込画面」から申込むことができる。
４　前項の規定により申込みをした資料を受領する者は、本館並びに本館が指定する公共図書館及び公民館図書室等（以下「受取館」という。）で資料を受け取ることができる。
５　前項の規定により受け取った資料を返却する者は、その資料を受け取った受取館へ返却しなければならない。
６　貸出期間は、貸出日の翌日から３０日以内とする。ただし、本館で受け取る場合は貸出日の翌日から３週間以内とする。
７　貸出できる資料は、図書及び逐次刊行物で第６条で規定された資料以外のものとする。
（郵送による館外貸出）
第１２条　利用カードの交付を受けた者は、郵送等による資料の貸出を受けることができる。
２　前項の館外貸出のために要する費用は、利用者の負担とする。
（特別貸出）
第１３条　館長は、公用、学術研究、その他特別の事情があると認めたときは、第２条第１項、第４条、第５条、及び第６条の規定にかかわらず資料を貸出することができる。
２　前項の貸出を受けようとする利用者は、特別貸出借用書（別記様式第６号）を館長に提出しなければならない。
（図書館間貸出）
第１４条　次の各号に掲げる施設は、資料の貸出を受けることができる。
（１）公共図書館、公民館図書室、学校図書館及び大学図書館
（２）その他館長が適当と認める施設
２　前項の場合において、館長は必要に応じて貸出点数を制限することができる。
３　貸出期間は、貸出日から１ヵ月以内とする。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、その期間を変更することができる。
４　前３項の規定にかかわらず、視聴覚資料の貸出対象施設は、県内の施設及び社会教育団体等に限るものとし、貸出点数及び貸出期間を、１回につき５点以内でかつ、１週間以内とする。
５　貸出を受けようとする施設は、資料借受申込書（別記様式第７号）を館長に提出しなければならない。
６　資料の返納に係る経費（郵送料等）は、借受施設の負担とする。
（一括特別貸出）
第１５条　次の各号に掲げる県内の施設は、読書活動を助長するため、資料の一括特別貸出を受けることができる。
（１）公共図書館及び公民館図書室
（２）その他館長が適当と認める施設
２　前項の貸出を受けようとする施設は、一括特別貸出申請書（別記様式第８号）を館長に提出しなければならない。
３　１の施設に対する貸出点数は、５００点以内とする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りではない。
４　貸出期間は、貸出日から１年以内とする。

（利用資料の予約等）

第１６条　本館に来館した利用者は、利用したい資料が、貸出中又は未所蔵等の理由で利用できない場合には、その資料について利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望をすることができる。

２　前項の利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望は、貸出予約申込書（別記様式第９号）を館長に提出して行うものとする。

３　前項で申し込んだ予約を利用者が取り下げたい場合は、予約取り下げ申出書（別記様式第１０号）を館長に提出しなければならない。

４　中学生以上の利用者は、利用者検索用端末機を使用して貸出中の資料に対して自ら利用予約の手続きをすることができる。

５　前項の場合、パスワード発行申込書（別記様式第１１号）を館長に提出し、自らパスワードを登録しなければならない。

（資料の複写）

第１７条　資料の複写は、著作権法（昭和４５年法律第４８号）第３１条第１号の規定に基づき利用者の調査研究の用に供するために、本館が所蔵する公表された著作物の一部分について、１人１件につき１部のみ行うことができる。

第１８条　資料を複写しようとするものは、複写申込書（別記様式第１２号）を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

２　複写に要する経費は、申込者の負担とする。

３　複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負わなければならない。

第１９条　次の各号に掲げる資料の複写は、許可しない。

（１）技術的に複写が困難な資料

（２）複写することによって損傷するおそれのある資料

（３）前２号に掲げるもののほか、館長が、複写することについて不適当と認めた資料

２　本館の業務に支障をきたすと館長が認めたときは、複写枚数を制限することができる。

（調査相談）

第２０条　調査相談をしようとする者は、口頭、電話、文書又は電子メールにより申し込むことができる。

第２１条　調査相談の依頼に対しては、主として文献に基づいて調査し、回答を行うものとする。

第２２条　依頼事項が次の各号に該当する場合は、調査相談に応じないものとする。

（１）古書、古文書及び美術品等の鑑定並びに市場価格の調査

（２）宿題、卒業論文及び懸賞問題に関する調査

（３）翻訳及び注釈並びに医療相談及び法律相談

（４）その他館長が不適当と認めるもの

２　前項以外の場合であっても、特に経費又は時間を要し他の業務に支障を及ぼすおそれがあると館長が認めたときは、調査に応じないものとする。

（研究室の利用）

第２３条　本館の資料を利用してグループ研究等を行う者及び館長が必要と認めた者は、研究室を利用することができる。

２　研究室を利用しようとする者は、研究室利用申込書（別記様式第１３号）を提出して館長の許可を受けなければならない。

（補則）

第２４条　この規程の施行に関し、必要な事項は、館長が別に定める。

附則

１　この規程は、平成１７年４月１日から施行する。

２　山形県立図書館利用規程（平成２年７月２７日）は、廃止する。

３　この規程は、平成１９年９月１日から施行する。

４　この規程は、平成２１年４月１日から施行する。

５　この規定は、平成２６年５月２０日から施行する。

発　行　**山　形　県　立　図　書　館**

〒990-0041　山形市緑町一丁目２－36
電　話　(023)631－2523(代)
(023)633－0165(本の相談)
ＦＡＸ　(023)625－6520